

芸 術

「 美 術 Ⅲ 」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	普通科 第 3 学年 1 ～ 5 組

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 美術Ⅰ・Ⅱで学んだことを基に伝達のためのデザイン作品、少人数の選択者であることの利点を生かし繊細な作業が要求されるモザイクでの時計の制作、最後に卒業作品であることを意識してのイラストレーション（自由制作）をします。 2 各自が選んだ選択教科ですので自主的に計画的に作業を進める姿勢を大切にするとともに表現する楽しさを味わい、完成に至るまでの経緯を大切にし、達成感を実感します。 3 各自の個性を大切にするとともに、人の作品を鑑賞し、美に客観的に向き合う気持ちを育成します。
使用教科書・副教材等	「美術Ⅲ」 (光村図書)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考(学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)
第 1	伝達のためのデザイン 「愛鳥週間のポスターの制作その2」 ・アイディアスケッチ ・パネルに水貼り ・色彩計画 ・パネルに下描 ・着色、修正し完成	4	・ 愛鳥週間の制作を再びします。二回目ですのでより洗練されたデザイン、構成、配色、色彩、レタリングを使用し三年生としてふさわしい作品の完成を目指します。 ・ 水貼りの方法も再確認します。	
		5 6		・ レタリングの参考資料の用意

学 期		6	・ 字を想定します。 ・ ポスターカラーの塗り方、配色に留意します。使用する色は混色により自分らしさを出します。 ・ 修正の重要性を理解し十分に修正し完成提出します。	
		7	・ 提出期限を守るようにします。	
	【課題・提出物等】 1 授業で提出したスケッチブック 2 パネル仕立てのポスター作品			
	【第1学期の評価方法】 1 スケッチブックを通してポスター完成に至るまでの過程、板書事項を確認し授業に対する取り組み態度を評価します。提出された作品を見て総合的に判断します。 2 学期の評価は作品点で80%、学習活動への参加の状況や出席状況で20%の配分で行います。			

第 2 学 期	1 絵画（モザイクによる時計の制作） 主題：自分の好きな風景（自室に飾るインテリア）として	9	・ 15 cm×15 cmのベニヤ台にモザイク専用のタイルを適当な大きさにカットして敷き詰めていきます	
		10	・ ベニヤ台のセンターには時計のパーツをはめ込むために直径1 cmの穴が開いているのでデザインするとき考慮するようにします。 ・ 主題は自分の部屋にあったものということです。モザイクの色の選び方、木枠に塗る塗料の色、時計の針の形、色に気配りしてください。	
		11	・ タイルのカットの仕方（大きさ）がポイントです。大きすぎないよう細かすぎないよう注意深く作業を進めてください。	

	2 絵画（イラストレーション：自由作品）		作業は終盤近くまで用紙の上にカットしたタイルを置いていくだけです。机を揺らしたりしない、また保管に気をつけてください。 ・ 額も制作しデザインにふさわしい塗料を塗って提出します。	
		12	・ B4 のイラストボードに卒業作品という意識の基に自由制作によるイラストを制作します。 ・ 条件は以下の通りです。 ① 着彩すること。 ② 着彩の方法は自由、コラージュやいろいろな方法を組み合わせても良い。 ③ 教科で用意できるもの意外の用具は各自用意する。	
	【課題・提出物等】 1 の授業での作品、スケッチブック			
	【第2学期の評価方法】 1 スケッチブックを通してモザイクにふさわしいアイデアを理解しているかを確認し、色彩計画の重要性、授業に対する取り組み方を評価します。1 で提出された作品で総合的に判断します。 2 学期全体の評価は作品点（スケッチブック、モザイク時計）で80%、学習活動への参加の態度、出席状況で20%の配分で行います。			
第3学期	2 学期のイラストレーションの継続	1	・ 3 学期は授業が少ないので、作業の進行状況を確認し、提出期限を守ってください。	
	【課題・提出物等】 1 のイラストレーション作品、スケッチブック			

	【第3学期の評価方法】 1 スケッチブックを通してイラストレーションが完成するまでの過程、授業に対する取り組みを判断します。 3 学期全体の評価は作品点90%、学習活動の参加の態度、出席状況10%の配分で行います。
【年間の学習状況の評価方法】 下記の観点から評価した第1学期、第2学期および第3学期の成績を総合し年間の評価とします。	

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	美術Ⅲは今までと違い各自が色々な選択科目の中から選んだものです。選択者も少人数です。授業で一番重要視するのは自主性です。主体的に取り組み、計画的に作業を各自の判断のもと進めていきます。必要な参考資料も各自で用意し、より良い作品になるようにしてください。 1年次、2年次に学んだ基礎の上により洗練された感覚がものを言ってきます。また、同時に常に新鮮で素直な気持ちも必要です。より幅の広い柔軟な物の見方、考え方は人間性を高めます。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・まず、授業中は説明を静かに聞き、板書事項は確認し、プリントはよく読んでやり方を理解して下さい。そして、集中して授業時間内に制作が完了するようにしてください。 ・提出物は期限厳守し、欠席等で作業が遅れた場合は放課後残って遅れを取り戻してください。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・ 関心を持って授業に臨み、意欲的に学習活動に取り組んでいるか。 ・ 常に美を意識して表現し、完成に至る喜びを感受しているか。	・ 授業への参加状況や態度 ・ 提出作品やスケッチブックの内容
芸術的な感性 や表現の工夫	・ 身の回りの形やこれまでの体験からの感性、想像力が作品の中に美として反映しているか。 ・ 自己の表現したい物を的確に表現するために工夫しているか。	・ 授業での取り組み ・ 提出作品、スケッチブック

創造的な表現の技能	・適切な用具や表現方法を選択し、創造的な表現のために効果的に活用できる技能を身につけているか。	・授業での取り組み ・提出作品
鑑賞の能力	自分の作品を客観的に分析し、自己の考えを述べ、良い点、反省点を把握し次に生かせるようにできるか。	・鑑賞の態度 ・制作レポート

3 担当者からのメッセージ

- ・ 3年生になっても1年生のときの新鮮で素直な気持ちを維持してください。妥協しないで最後まで丁寧に手を抜かずやり抜く気持ちが大切です。
- ・ 1年次・2年次に培った基本的な表現方法の上により洗練された見方、想像力、表現力を身につけてください。